

## 目 次

大会プログラム	p. 2
I. 予稿集	
《研究発表》	
筒井佐代「会話者の役割の重層性と力関係の交渉」	p. 5
宇田川かおり「湾岸戦争報道にあらわれる日本の思考習慣」	p.11
梶本総子「会話における会話参加者の位置関係と言語形式」	p.16
林 礼子「クリティカル リテラシー ——"Invisible"を"Visible"にするための言語研究の方法と実践」	p.22
山口勸・日高由香子・水野恵・膳場百合子・山内麻祐子 「日常用語としての『甘え』の使い方」	p.28
清水誠治「愛媛県東宇和郡西部におけるアクセントの世代差について」	p.31
田鍋佳子・岡隆「集団ステレオタイプを生み出す言語コミュニケーション」	p.37
尾崎喜光「自然談話資料に見る終助詞『よ』『ね』の使用の男女差」	p.43
笹原宏之・横山詔一「異体字選択に影響する要因の分析」	p.49
菅沼文子「日本語のア系指示語による言語行動 ——指示語は単なる『指示する』語か？」	p.55
《シンポジウム》	
井出祥子「シンポジウム 社会・文化的認知と言語・コミュニケーション」	p.60
井上京子「言語人類学の可能性」	p.62
片桐恭弘「マルチメディア・コミュニケーションと社会・文化的認知」	p.66
西阪 仰「相互行為のための文法」	p.70
平賀正子「語用論と言語教育」	p.76
山梨正明「言葉の社会・文化的機能とイメージスキーマ ——認知言語学からの展望」	p.81
記念講演者・研究発表者・シンポジウムパネリスト紹介	p.86
II. 総会資料	
第一回総会議題 / 社会言語科学学会の発足趣旨と発起人	p.87
社会言語科学学会会則 (案)	p.88
社会言語科学学会組織図 / 社会言語科学学会幹事および理事候補者名簿 / 社会言語科学学会活動内容	p.92
社会言語科学学会 1998 年度予算案	p.93
社会言語科学学会会員募集のお知らせ	p.94
次回 (第2回) 研究大会の予定と発表募集のお知らせ	p.96
学会誌『社会言語科学』原稿募集のお知らせ	p.97
学会誌『社会言語科学』編集規定 (案)	p.97
学会誌『社会言語科学』投稿規定 (案)・執筆要項 (案)	p.98